内閣総理大臣殿・拉致問題担当大臣殿・関係閣僚殿
関係衆参両院議員殿

敬美さん

剛さん

全ての拉致被害者の情報を早急に収集し政府の責任として救出してください

●総理大臣は特定失踪者（北朝鮮による拉致の可能性を排除できない失踪者）の家族と面会して下さい

●拉致被害者支援法を改正して渡辺秀子さんのお子さんたち（高敬美さん・剛さん）を拉致認定してください

政府は令和4年(2021)9月現在、17人について法律上の拉致認定をしていますが、実際にはそれよりはるかに多くの日本人が拉致されています。特定失踪者問題調査会には約470人の特定失踪者のリストがあります。警察のリストは900人近くに上ります。身寄りがなかったりご家族の事情などで調査会や警察に届け出をしていない拉致被害者のケースも少なくありません。

それなのに歴代内閣総理大臣は誰一人として特定失踪者家族と面会していません。一刻も早く面会し、全拉致被害者救出を実現すると内外に明らかにして下さい。

また、現在の拉致被害者としての認定は「支援法」という法律によっていますが、ここには第2条1項に「被害者　北朝鮮当局によって拉致された日本国民として内閣総理大臣が認定した者をいう」とされており、日本人女性である渡辺秀子さんのお子さんであり日本で生まれ育った敬美（きよみ）さんと剛（つよし）さんは含まれません。父親が在日だったため朝鮮籍になっているからですが、二人は昭和49年（1974）に北朝鮮に拉致されており、警察も拉致事件と断定しているのに国籍が理由で認定の対象外となっています。日本国内で失踪した特定失踪者の中には政府認定者田中実さんとともに北朝鮮にいるとされる在日韓国人金田竜光さんや台湾人沈静玉さんもいます。支援法の国籍条項を「被害者　北朝鮮当局によって日本から拉致された者及び日本国外において拉致された日本国民をいう」と改正されるよう求めます。

お名前	ご住所

▪署名簿の送付先

特定失踪者家族会〈正式名称：特定失踪者（北朝鮮による拉致の可能性を排除できない失踪者）家族有志の会〉
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8-301 特定失踪者問題調査会内
Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059 http://www.chosa-kai.jp comjansite2003@chosa-kai.jp
＜この署名は政府への提出のみの目的で使用します＞